

富山県立大学大学院学則 新旧対照表（令和3年度改正案）

現 行 (令和2年4月1日現在)	改 正 案 (令和3年4月改正予定のもの)	備 考																																								
<p>(研究科、専攻及び課程)</p> <p>第3条 本大学院に次の研究科、専攻及び課程を置く。</p> <table border="1" data-bbox="241 244 730 411"> <thead> <tr> <th>研究科</th> <th>専攻</th> <th>課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工学研究科</td> <td>機械システム工学専攻</td> <td>博士課程</td> </tr> <tr> <td>知能デザイン工学専攻</td> <td>博士課程</td> </tr> <tr> <td>情報システム工学専攻</td> <td>博士課程</td> </tr> <tr> <td>環境工学専攻</td> <td>博士課程</td> </tr> <tr> <td>生物工学専攻</td> <td>博士課程</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 博士課程は、前期2年の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。</p> <p>(新設)</p> <p>(博士前期課程における各専攻の目的)</p> <p>第4条 博士前期課程における各専攻の教育研究上の目的は、次のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 機械システム工学専攻 環境に配慮した安全で安心な社会の構築を目指した、先端的で高度な機械工学とその周辺分野の専門知識を身に付け、創造力を発揮できる人材を養成すること。 知能デザイン工学専攻 機械工学・電子工学・情報工学のいずれかの学問分野に軸足を置きつつ、三領域にまたがる広範囲な教育研究を行い、幅広い視野で革新的な技術開発を行うことができる優れた専門性及び学識を備えた人材を養成すること。 情報システム工学専攻 技術革新及び情報社会を支える情報通信システムに関する教育研究を行い、幅広い知識及びそれらを総合する能力を有し、創造性に富み社会の変化に柔軟に対応できる人材を養成すること。 環境工学専攻 水循環工学、資源循環工学、環境政策学、環境デザイン工学その他の幅広い環境関連分野の教育研究を行い、環境問題の解決及び循環型社会の構築のための高度技術並びにマネジメント能力を有する人材を養成すること。 生物工学専攻 先端的なバイオテクノロジー及びその周辺分野の基礎知識を基盤とした教育研究を行い、食品、化学及び医薬品工業に関する専門的な知識及び技術を有する研究開発指向型の人材を養成すること。 	研究科	専攻	課程	工学研究科	機械システム工学専攻	博士課程	知能デザイン工学専攻	博士課程	情報システム工学専攻	博士課程	環境工学専攻	博士課程	生物工学専攻	博士課程	<p>(課程)</p> <p>第3条 本大学院に博士課程を置く。</p> <p>2 前項博士課程は、前期2年の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。</p> <p>(研究科、専攻及び定員)</p> <p>第4条 本大学院に工学研究科を置く。</p> <p>2 前項に規定する研究科に置く専攻並びにその入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1039 635 1771 839"> <thead> <tr> <th>研究科</th> <th>専攻</th> <th>課程</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工学研究科</td> <td>機械システム工学専攻</td> <td rowspan="5">博士前期課程</td> <td>20名</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>知能ロボット工学専攻</td> <td>20名</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>電子・情報工学専攻</td> <td>27名</td> <td>54名</td> </tr> <tr> <td>環境・社会基盤工学専攻</td> <td>15名</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>生物・医薬品工学専攻</td> <td>26名</td> <td>52名</td> </tr> <tr> <td>総合工学専攻</td> <td>博士後期課程</td> <td>10名</td> <td>30名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(博士前期課程における各専攻の目的)</p> <p>第5条 博士前期課程における各専攻の教育研究上の目的は、次のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 機械システム工学専攻 環境に配慮した安全で安心な社会の構築を目指した、先端的で高度な機械工学とその周辺分野の専門知識を身に付け、創造力を発揮できる人材を養成すること。 知能ロボット工学専攻 機械工学・電子工学・情報工学のいずれかの学問分野に軸足を置きつつ、三領域にまたがる広範囲な教育研究を行い、幅広い視野で革新的な技術開発を行うことができる優れた専門性及び学識を備えた人材を養成すること。 電子・情報工学専攻 技術革新及び情報社会を支える情報通信システムに関する教育研究を行い、幅広い知識及びそれらを総合する能力を有し、創造性に富み社会の変化に柔軟に対応できる人材を養成すること。 環境・社会基盤工学専攻 水循環工学、資源循環工学、環境政策学、環境デザイン工学その他の幅広い環境関連分野の教育研究を行い、環境問題の解決及び循環型社会の構築のための高度技術並びにマネジメント能力を有する人材を養成すること。 生物・医薬品工学専攻 先端的なバイオテクノロジー及びその周辺分野の基礎知識を基盤とした教育研究を行い、食品、化学及び医薬品工業に関する専門的な知識及び技術を有する研究開発指向型の人材を養成すること。 	研究科	専攻	課程	入学定員	収容定員	工学研究科	機械システム工学専攻	博士前期課程	20名	40名	知能ロボット工学専攻	20名	40名	電子・情報工学専攻	27名	54名	環境・社会基盤工学専攻	15名	30名	生物・医薬品工学専攻	26名	52名	総合工学専攻	博士後期課程	10名	30名	<p>○研究科及び専攻の設置を別の条（次条）で規定</p> <p>○規定の整備</p> <p>○研究科及び専攻の設置と定員の定める規程を1条追加</p> <p>○4専攻（M）の名称を変更し、1専攻（D）を新設</p> <p>○機械システム工学専攻～生物・医薬品工学専攻は前期のみ、総合工学専攻は後期のみの課程とする。</p> <p>○1条繰下げ</p> <p>○4専攻の名称変更 「知能デザイン工学専攻」→「知能ロボット工学専攻」 「情報システム工学専攻」→「電子・情報工学専攻」 「環境工学専攻」→「環境・社会基盤工学専攻」 「生物工学専攻」→「生物・医薬品工学専攻」</p>
研究科	専攻	課程																																								
工学研究科	機械システム工学専攻	博士課程																																								
	知能デザイン工学専攻	博士課程																																								
	情報システム工学専攻	博士課程																																								
	環境工学専攻	博士課程																																								
	生物工学専攻	博士課程																																								
研究科	専攻	課程	入学定員	収容定員																																						
工学研究科	機械システム工学専攻	博士前期課程	20名	40名																																						
	知能ロボット工学専攻		20名	40名																																						
	電子・情報工学専攻		27名	54名																																						
	環境・社会基盤工学専攻		15名	30名																																						
	生物・医薬品工学専攻		26名	52名																																						
	総合工学専攻	博士後期課程	10名	30名																																						

現 行 (令和2年4月1日現在)	改 正 案 (令和3年4月改正予定のもの)	備 考																																						
<p>(博士後期課程における各専攻の目的)</p> <p>第5条 博士後期課程における各専攻の教育研究上の目的は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 機械システム工学専攻 環境に配慮した安全で安心な社会の構築を目指した機械工学に関する教育研究を行い、先端的で高度な機械工学及びその周辺分野の専門知識を有し、高度な研究能力及び豊かな学識を備えた人材を養成すること。</p> <p>(2) 知能デザイン工学専攻 電子工学、機械工学及び情報工学が融合した先端技術領域において独創的な教育研究を行い、現実課題の解決に適応できる高度な研究能力及び豊かな学識を備えた人材を養成すること。</p> <p>(3) 情報システム工学専攻 技術革新及び情報社会を支える情報通信システムに関する教育研究を行い、問題を発見し解決する能力、自立して研究活動を行うことができる高度な研究能力及び豊かな学識を備えた人材を養成すること。</p> <p>(4) 環境工学専攻 環境問題を解決し持続可能な循環型社会を構築するための技術やマネジメントに関する教育研究を行い、自ら問題を発見しその解決に対応できる高度な研究能力及び豊かな学識を備えた人材を養成すること。</p> <p>(5) 生物工学専攻 生命現象を分子レベルで解析し、それを応用へ繋げる創造的かつ独創的な教育研究を行い、独自で研究テーマを展開し、遂行することができる高度な研究能力及び豊かな学識を備えた人材を養成すること。</p> <p>(新設)</p> <p>(学生定員)</p> <p>第6条 学生の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="241 1145 828 1449"> <thead> <tr> <th>専 攻 課 程</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">機械システム工学専攻</td> <td>博士前期課程</td> <td>17名</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>4名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">知能デザイン工学専攻</td> <td>博士前期課程</td> <td>17名</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>4名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">情報システム工学専攻</td> <td>博士前期課程</td> <td>17名</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>4名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">環 境 工 学 専 攻</td> <td>博士前期課程</td> <td>12名</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>2名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">生 物 工 学 専 攻</td> <td>博士前期課程</td> <td>15名</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>博士後期課程</td> <td>4名</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table>	専 攻 課 程	入学定員	収容定員	機械システム工学専攻	博士前期課程	17名	34名	博士後期課程	4名	12名	知能デザイン工学専攻	博士前期課程	17名	34名	博士後期課程	4名	12名	情報システム工学専攻	博士前期課程	17名	34名	博士後期課程	4名	12名	環 境 工 学 専 攻	博士前期課程	12名	24名	博士後期課程	2名	6名	生 物 工 学 専 攻	博士前期課程	15名	30名	博士後期課程	4名	12名	<p>(博士後期課程における各専攻の目的)</p> <p>第6条 博士後期課程における各専攻の教育研究上の目的は、次のとおりとする。</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>総合工学専攻 持続可能な社会に向けた新たな技術の創成や工学全般にわたる複合的な課題に対処するため、次に掲げる工学の各分野に関する教育研究を行い、各専門領域における高度な専門知識を身につけ、俯瞰的視野を持ち、斬新な創造力と思考力を発揮できる高度な研究能力及び豊かな学識を備えた人材を養成すること。</p> <p>ア 機械システム工学 イ 知能ロボット工学 ウ 電子・情報工学 エ 環境・社会基盤工学 オ 生物・医薬品工学</p> <p>(削除)</p>	<p>○1条繰下げ</p> <p>○現行の各専攻に係る課程を博士前期課程のみとするため、各専攻を削り、新たに設置する博士後期課程のみの総合工学専攻の目的を定める。</p> <p>○定員の定めを第4条へ移行</p>
専 攻 課 程	入学定員	収容定員																																						
機械システム工学専攻	博士前期課程	17名	34名																																					
	博士後期課程	4名	12名																																					
知能デザイン工学専攻	博士前期課程	17名	34名																																					
	博士後期課程	4名	12名																																					
情報システム工学専攻	博士前期課程	17名	34名																																					
	博士後期課程	4名	12名																																					
環 境 工 学 専 攻	博士前期課程	12名	24名																																					
	博士後期課程	2名	6名																																					
生 物 工 学 専 攻	博士前期課程	15名	30名																																					
	博士後期課程	4名	12名																																					

現 行 (令和2年4月1日現在)				改 正 案 (令和3年4月改正予定のもの)				備 考
別表 授業科目				別表 <u>(第13条関係)</u>				○規定の整備
(1) 機械システム工学専攻				(1) 機械システム工学専攻				
博士前期課程	教養	高度実践英語	2	教養	高度実践英語	2	○博士後期課程を廃止 博士前期課程のみ	
		科学技術論	2		科学技術論	2		
	MOT	技術経営論 I	2	MOT	技術経営論 I	2		
		地域産業論	2		地域産業論	2		
		技術経営論 II	2		技術経営論 II	2		
		創造性開発研究	2		創造性開発研究	2		
		数値熱流体力学	2		熱流体工学	数値熱流体力学		2
	実験熱流体力学	2	実験熱流体力学	2				
	数理科学	2	数理科学	2				
	環境・エネルギー工学特論	2	環境・エネルギー工学特論	2				
	応用統計熱力学	2	応用統計熱力学	2				
	熱設計学	2	熱設計学	2				
	エネルギー変換工学特論	2	エネルギー変換工学特論	2				
	固体力学・ 設計生産工学	CAD/CAM 特論	2	固体力学・ 設計生産工学		CAD/CAM 特論		2
		信頼性工学特論	2		信頼性工学特論	2		
		表面工学特論	2		表面工学特論	2		
		基礎転位論	2		基礎転位論	2		
		振動音響設計	2		振動音響設計	2		
	材料設計加工学	耐震設計特論	2	材料設計加工学	耐震設計特論	2		
		マテリアルエコプロセス論	2		マテリアルエコプロセス論	2		
		複合材料工学特論	2		複合材料工学特論	2		
		環境微細加工学特論	2		環境微細加工学特論	2		
		構造材料強度学	2		構造材料強度学	2		
		材料界面工学	2		材料界面工学	2		
		粉粒体プロセス工学	2		粉粒体プロセス工学	2		
	専門基礎	軽金属構造材料学	2	専門基礎	軽金属構造材料学	2		
		熱流体工学基礎	2		熱流体工学基礎	2		
		固体力学・設計生産工学基礎	2		固体力学・設計生産工学基礎	2		
	演習・研究	材料設計加工学基礎	2	演習・研究	材料設計加工学基礎	2		
		機械システム工学特別演習 I	2		機械システム工学特別演習 I	2		
機械システム工学特別演習 II		2	機械システム工学特別演習 II		2			
演習・研究	機械システム工学特別研究	8	演習・研究	機械システム工学特別研究	8			
	機械システム工学特別演習 III	2		(削除)				
期 博 課 士 程 後	演習・研究	機械システム工学特別研究	12					

現 行 (令和2年4月1日現在)				改 正 案 (令和3年4月改正予定のもの)				備 考	
(2) 知能デザイン工学専攻				(2) 知能ロボット工学専攻				<p>○専攻(博士前期課程)の名称変更、博士後期課程の廃止</p> <p>○部門名変更 「知能システム工学」→「機能ロボティクス」</p> <p>○「センサロボット工学」、「ヒューマンロボットシステム」、「知的学習システム」は、新設(分割)する知的情報システム工学部門に変更</p> <p>○「知能情報工学」は知的情報システム工学部門に変更</p> <p>○部門名変更 「マイクロ・ナノシステム工学」→「知的センシング工学」</p> <p>○「先端バイオ計測法」、「ナノマテリアル特論」を廃止</p> <p>○「光センシング法」を新設</p> <p>○「知能情報システム工学」部門を新設</p> <p>○「電子ナノデバイス工学」部門を廃止</p> <p>○演習・研究の授業科目名変更</p> <p>○博士後期課程を廃止 博士前期課程のみ</p>	
博士前期課程	課程	部門	授業科目	単位数	課程	部門	授業科目		単位数
	教養		高度実践英語	2	教養		高度実践英語		2
			科学技術論	2			科学技術論		2
	MOT		技術経営論Ⅰ	2	MOT		技術経営論Ⅰ		2
			地域産業論	2			地域産業論		2
			技術経営論Ⅱ	2			技術経営論Ⅱ		2
			創造性開発研究	2			創造性開発研究		2
	知能システム工学		センサロボット工学	2	機能ロボティクス		ロボットデジタル制御		2
			ロボットデジタル制御	2			ロボット運動制御		2
			ロボット運動制御	2			マイクロセンサ工学		2
			ヒューマンロボットシステム	2			マイクロロボティクス		2
			知的学習システム	2			認知情報科学		2
			マイクロセンサ工学	2			聴覚情報処理		2
			マイクロロボティクス	2			知的インタフェース工学		2
	知的インタフェース工学		知能情報工学	2	知的インタフェース工学		パターン認識システム		2
			認知情報科学	2			生体電磁環境工学		2
			聴覚情報処理	2			計算論的神経科学		2
			パターン認識システム	2			応用統計学		2
			生体電磁環境工学	2			知的センシング工学		2
			計算論的神経科学	2			データ解析論		2
			応用統計学	2			先端材料加工学		2
							工業計量学		2
							波動情報処理	2	
マイクロ・ナノシステム工学		データ解析論	2	知的センシング工学		光センシング法	2		
		先端バイオ計測法	2			知能情報工学	2		
		先端材料加工学	2			ヒューマンロボットシステム	2		
		工業計量学	2			知的学習システム	2		
		波動情報処理	2			センサロボット工学	2		
電子ナノデバイス工学		ナノマテリアル特論	2	知能情報システム工学		知能ロボット工学特別演習Ⅰ	2		
		強誘電体工学	2			知能ロボット工学特別演習Ⅱ	2		
		ナノ物質物性論	2			知能ロボット工学特別研究	8		
		ナノ物性評価法	2						
		ナノ構造制御デバイス	2						
		ナノ固体電子論	2						
		VLSI設計	2						
演習・研究		知能デザイン工学特別演習Ⅰ	2	演習・研究					
		知能デザイン工学特別演習Ⅱ	2						
		知能デザイン工学特別研究	8						
演習・研究		知能デザイン工学特別演習Ⅲ	2	(削除)					
		知能デザイン工学特別研究	12						
博士後期課程									

現 行 (令和2年4月1日現在)				改 正 案 (令和3年4月改正予定のもの)				備 考	
(3) 情報システム工学専攻				(3) 電子・情報工学専攻				○専攻 (博士前期課程) の名称変更、博士後期課程の廃止 ○「通信ネットワーク工学」部門を「集積デバイス工学」「電磁波応用工学」の2部門に分割 ○授業科目名変更等 ・「情報数理学」→「ビッグデータ数理学」 ・「VLSI設計」→「センサシステム特論」、「集積回路特論」に名称変更・分割 (新設) ・「パワーエレクトロニクス特論」→「パワーデバイス工学」 ・「コンテキスト理解」→「IoT・コンテキスト理解」、ソフトウェア工学部門に変更 ・「薄膜電子デバイス工学」、「システム制御論」を新設 ・演習・研究の授業科目名変更 ○博士後期課程を廃止 博士前期課程のみ	
博士前期課程	課程	部門	授業科目	単位数	課程	部門	授業科目		単位数
博士前期課程	教養		高度実践英語	2	教養		高度実践英語		2
			科学技術論	2			科学技術論		2
	MOT		技術経営論 I	2	MOT		技術経営論 I		2
			地域産業論	2			地域産業論		2
			技術経営論 II	2			技術経営論 II		2
			創造性開発研究	2			創造性開発研究		2
	専門基礎		情報工学基礎	2	専門基礎		情報工学基礎		2
			電子工学基礎	2			電子工学基礎		2
	情報メディア工学		人間情報工学	2	情報メディア工学		人間情報工学		2
			情報数理学	2			ビッグデータ数理学		2
			情報メディア通信工学	2			情報メディア通信工学		2
	通信ネットワーク工学		VLSI設計	2	集積デバイス工学		センサシステム特論		2
			パワーエレクトロニクス特論	2			集積回路特論		2
			機能材料物性特論	2			パワーデバイス工学		2
			電波工学特論	2			薄膜電子デバイス工学		2
			コンテキスト理解	2			機能材料物性特論		2
	ソフトウェア工学		システム開発工学	2	電磁波応用工学		電波工学特論		2
			システムモデリング	2			システム制御論		2
			光計測工学	2			光計測工学	2	
	演習・研究		情報システム工学特別演習 I	2	ソフトウェア工学		システム開発工学	2	
情報システム工学特別演習 II			2	IoT・コンテキスト理解			2		
情報システム工学特別研究			8	システムモデリング			2		
博士後期課程	演習・研究	情報システム工学特別演習 III	2	演習・研究		電子・情報工学特別演習 I	2		
		情報システム工学特別研究	12			電子・情報工学特別演習 II	2		
								電子・情報工学特別研究	8
				(削除)					

現 行 (令和2年4月1日現在)				改 正 案 (令和3年4月改正予定のもの)				備 考	
(4) 環境工学専攻				(4) 環境・社会基盤工学専攻				○専攻(博士前期課程)の名称変更、博士後期課程の廃止	
博士前期課程	課程	部門	授業科目	単位数	課程	部門	授業科目		単位数
	教養		高度実践英語	2	教養		高度実践英語	2	
			科学技術論	2			科学技術論	2	
	MOT		技術経営論 I	2	MOT		技術経営論 I	2	
			地域産業論	2			地域産業論	2	
			技術経営論 II	2			技術経営論 II	2	
			創造性開発研究	2			創造性開発研究	2	
	水循環工学		環境モデリング	2	環境工学		環境モデリング	2	
			土壌水圏科学	2			土壌水圏科学	2	
			大気物理化学	2			大気物理化学	2	
			環境リスク管理工学	2			環境リスク管理工学	2	
			環境応用生態学	2			環境応用生態学	2	
			水資源システム論	2			水資源システム論	2	
	資源循環工学・環境政策学		大気環境学	2	社会基盤工学		大気環境学	2	
			廃棄物資源学	2			廃棄物資源学	2	
			物質循環解析学	2			物質循環解析学	2	
			環境エネルギーシステム学	2			環境技術システム論	2	
	環境デザイン工学		環境政策学	2	社会基盤工学		水資源システム論	2	
			環境技術システム論	2			環境エネルギーシステム学	2	
			応用土質工学	2			環境政策学	2	
応用コンクリート工学			2	応用土質工学			2		
環境計画論			2	応用コンクリート工学			2		
流域保全学			2	環境計画論			2		
専攻共通		土木事業施工論	2	社会基盤工学		流域保全学	2		
		建設マネジメント論	2			土木事業施工論	2		
		環境国際技術協力論	2			建設マネジメント論	2		
		インターンシップ	2			応用河海工学	2		
演習・研究		環境工学特別演習 I	2	専攻共通		インターンシップ	2		
		環境工学特別演習 II	2			演習・研究		環境・社会基盤工学特別演習 I	2
		環境工学特別研究	8					環境・社会基盤工学特別演習 II	2
演習・研究		環境工学特別演習 III	2	演習・研究		環境・社会基盤工学特別研究	8		
		環境工学特別研究	12						
期課程	博士後								
				(削除)				○3部門を2部門に改編(名称変更、所属授業科目の変更等)	
								○「応用河海工学」を新設	
								○「環境国際技術協力論」を廃止	
								○演習・研究の授業科目名変更	
								○博士後期課程を廃止 博士前期課程のみ	

現 行 (令和2年4月1日現在)				改 正 案 (令和3年4月改正予定のもの)				備 考
(5) <u>生物工学専攻</u>				(5) <u>生物・医薬品工学専攻</u>				○専攻(博士前期課程)の名称変更、博士後期課程の廃止
課程	部門	授業科目	単位数	課程	部門	授業科目	単位数	
博士前期課程	教養	高度実践英語	2	教養	高度実践英語	2	2	
		科学技術論	2		科学技術論	2		
	MOT	技術経営論 I	2	MOT	技術経営論 I	2	2	
		地域産業論	2		地域産業論	2		
		技術経営論 II	2		技術経営論 II	2		
		創造性開発研究	2		創造性開発研究	2		
	酵素化学工学	酵素化学工学	2	酵素化学工学	酵素化学工学	2	2	
	応用生物プロセス学	応用生物プロセス学	2	応用生物プロセス学	2			
	微生物工学	微生物工学	2	微生物工学	微生物工学	2	2	
	生物有機化学	生物有機化学	2	生物有機化学	生物有機化学	2		
	機能性食品工学	機能性食品工学	2	機能性食品工学	機能性食品工学	2	2	
	植物機能工学	植物機能工学	2	植物機能工学	植物機能工学	2		
	応用生物情報学	応用生物情報学	2	応用生物情報学	応用生物情報学	2	2	
	製薬化学工学	製薬化学工学	2	製薬化学工学	製薬化学工学1	2		
	バイオ医薬品工学	バイオ医薬品工学	2	バイオ医薬品工学	製薬化学工学2	2	2	
	その他	先端バイオ計測法	2		バイオ医薬品工学1	2		
		演習・研究	生物学特別演習 I	2	バイオ医薬品工学2	2		
			生物学特別演習 II	2	演習・研究	生物・医薬品工学特別演習 I	2	
生物学特別研究	8	生物・医薬品工学特別演習 II	2					
期 博士 後 課程	演習・研究	生物学特別演習 III	2	生物・医薬品工学特別研究	8	8	○「製薬化学工学」を「製薬化学工学1」、「製薬化学工学2」に分割 ○「バイオ医薬品工学」を「バイオ医薬品工学1」、「バイオ医薬品工学2」に分割 ○「先端バイオ計測法」を廃止 ○演習・研究の授業科目名変更 ○博士後期課程を廃止 博士前期課程のみ	
		生物学特別研究	12					
				(削除)				

現 行 (令和2年4月1日現在)	改 正 案 (令和3年4月改正予定のもの)	備 考										
(新設)	<p>(6) 総合工学専攻</p> <table border="1" data-bbox="1041 196 1774 316"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>部門</th> <th>授業科目</th> <th>単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">期博士 課程後</td> <td rowspan="2">演習・研究</td> <td>総合工学特別演習</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>総合工学特別研究</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>附 則 (施行期日) 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。 (経過措置) 2 この規程の施行の日（以下「施行日」という。）の前日に置かれている工学研究科の各専攻に係る博士後期課程は、改正後の学則の規定にかかわらず、同日に当該課程に在学する者が在学しなくなるまでの間、存続するものとする。 3 施行日の前から引き続いて在学する者に係る授業科目、単位数、履修方法、修了の要件及び単位の修得等により得られる資格は、改正後の学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。</p>	課程	部門	授業科目	単位数	期博士 課程後	演習・研究	総合工学特別演習	2	総合工学特別研究	12	<p>○総合工学専攻を追加 ○博士後期課程のみ</p> <p>○施行期日及び経過措置を規定</p>
課程	部門	授業科目	単位数									
期博士 課程後	演習・研究	総合工学特別演習	2									
		総合工学特別研究	12									